

新入生をお迎えして

入学おめでとうございます。今、私たちは新型コロナウイルス感染症から、皆さんの教育環境を守るべく努力をしております。

さて、本学は経典の「仁愛兼濟」つまり、「互いに慈しみあって『いのち』を尊び、世を照らす灯となって、それを実践する。」ということを建学の精神にしております。

ところで、先日、いのちを問いかける大きな出来事がありました。相模原障がい者施設殺傷事件の判決です。被告は、人間の価値を生産性、効率性にのみ認め、「役に立つ、立たない」で人の善し悪しを測っています。人間の価値は、それだけで測れるのでしょうか。

仏教はいかなる殺生も否定します。そして、経典には青色の物は青い光を、黄色の物は黄色い光を、赤色の物は赤い光を、白色の物は白い光を放ち、それぞれに輝いていると説いています。また、別の経典にはみんな好ましいも醜いもない「無有好醜の願」、みんな悉く金色に輝いている「悉皆金色の願」とあります。つまり、人それぞれに、私の気づかない様々な価値、つまり輝きがあります。障害があってもなくても、死に近い人であろうとなかろうと「人は存在そのものに意味がある」のです。皆さんのご意見はいかがでしょう。

本学は、皆さんがそれぞれの分野の高度な専門的知識とスキルを修得するとともに、心の通った人間性を培う「ソールメイキングキャンパス」です。「いのち」を学ぶ場です。それは、どんな職業に就こうとも、必要とされる高度な教養です。諸君が本学で充実したキャンパスライフを送り、心豊かな人として成長されますことを念じます。

学長 田代俊孝

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、入学式は中止となりました。